

2) パークマネジメントプランの作成

パークマネジメントプランは、「公園経営基本方針」に基づき、各々の公園のニーズを把握し、その公園の特性を踏まえて、「公園がめざすべき姿」と「それに向けた取り組み方針」について具体的に定めたものです。パークマネジメントプランは市民に公開し、社会的なコンセンサスのもとで公園経営を行います。

(1) パークマネジメントプラン策定対象公園の基準

市内の公園の利活用状況を整理した表 1-2-4 を元に、パークマネジメントプラン策定対象公園の基準（表 1-2-5）を設定しました。

その結果、表 1-2-6 に示した公園で、パークマネジメントプランの作成を始めます。

また、その他の公園で、緑のパートナーや公園キャストが増えてきたなど、作成対象公園の基準に達した公園については、順次パークマネジメントプランを作成していきます。

表 1-2-4 公園の利活用状況

平成 23 年度

	住区基幹公園			都市基幹公園			動植物公園 大通公園 歴史公園 墓園	緩衝緑地 都市緑地 広場公園 緑道	合計		
	街区公園	近隣公園	地区公園	総合公園	運動公園	河川敷緑地					
名古屋市営都市公園（公園数）	1199	100	25	7	4	21	6	59	1421		
指定管理者が管理している公園	0	0	2	5	2	0	2	0	11		
活動承認団体が活動している公園	0	0	0	3	0	0	1	1	5		
緑のパートナーが活動している公園	1	0	2	3	0	0	2	3	11		
地元が管理している花壇がある公園	118	22	8	5	0	3	1	5	162		
行為許可の実績があった公園（公園数）	イベント	撮影（映画撮影、テレビ撮影 など）	19	8	10	3	1	6	3	0	50
		スポーツ教室（サッカー教室 など）	45	44	10	4	0	5	0	1	109
		地元主催行事 （町内会、老人会、子ども会 など）	262	53	14	8	1	6	2	7	353
		学校等主催行事 （幼稚園や小学校 など）	73	20	11	8	0	4	1	1	118
		消防団主催行事 （地元で構成された消防団 など）	57	13	4	1	1	3	0	0	79
		自治体主催行事 （区役所やほかの行政機関）	171	27	17	7	2	8	4	4	240
		民間主催行事 （上記以外の団体）	62	15	9	7	3	7	3	3	109
		その他（上記のいずれにも属さない行為、デー キャンプ など）	11	9	5	3	1	2	0	0	31
避難地等	広域防災拠点に指定されている公園	0	0	2	3	1	0	1	0	7	
	広域避難地に指定されている公園	3	12	9	8	4	13	3	2	54	
	一次避難地に指定されている公園	10	78	13	0	0	0	0	2	103	

表 1-2-5 パークマネジメントプラン策定対象公園の基準

パークマネジメントプラン 策定対象公園の基準	理由
「シンボル公園」	公園経営推進のために重点的かつ先行的に取り組む必要がある。
「広域の拠点となる公園」等※1	利用者の範囲が広域かつ多様である。
指定管理者により管理が行われている公園※2	公園の管理運営の方向性を市民に情報公開し、共有する必要性が高い。
緑のパートナー等が活動している公園（公園キャストも含む）	公園の管理運営に深くかかわる活動団体である緑のパートナー等と、公園の管理運営の方針について共有する必要がある。
広域防災拠点となっている公園	災害発生時には、広範囲の人々の利用が想定されることから、災害時の運営方針を想定し、広く情報共有を図る必要がある。

※1：「広域の拠点となる公園」等：総合公園、運動公園、特殊公園（動植物公園、墓園、歴史公園、大通公園）、及び地区公園が該当する。

※2：今後指定管理者制度の導入公園が増えるに従い、対象公園が増えることが考えられる。

表 1-2-6 パークマネジメントプラン策定対象公園（1/2）

区名	名 称	広域の拠点となる公園等	指定管理者管理公園	緑のパートナー活動公園	広域防災拠点	面積 (ha)	開園年度	公園種別
千種	東山公園	○		○		120.07	昭和10年	動植物公園
	平和公園	○		○	○	40.77	昭和57年	墓園
	千種公園	○				5.94	昭和45年	地区公園
	鹿子公園	○				4.62	昭和56年	地区公園
	茶屋ヶ坂公園	○				9.68	平成2年	地区公園
東	徳川園	○	○			4.53	昭和7年	地区公園
北	志賀公園	○				2.75	昭和10年	地区公園
	楠公園	○				4.82	昭和61年	地区公園
西	庄内緑地	○	○		○	47.39	昭和61年	総合公園
	蛇池公園	○				4.87	平成24年	地区公園
中村	中村公園	○				6.27	大正12年	地区公園
中	名城公園	○	○		○	80.52	昭和6年	総合公園
	久屋大通公園	○				15.66	昭和45年	大通公園
	若宮大通公園	○				12.03	昭和54年	大通公園
	白川公園	○				8.92	昭和42年	地区公園
昭和	鶴舞公園	○	○			24.07	明治42年	総合公園
	吹上公園	○				4.79	昭和44年	地区公園
	興正寺公園	○		○		5.25	昭和44年	地区公園
	川名公園			○		0.21	昭和61年	街区公園

表 1-2-6 パークマネジメントプラン策定対象公園 (2/2)

区名	名称	広域の拠点となる公園等	指定管理者管理公園	緑のパートナー活動公園	広域防災拠点	面積 (ha)	開園年度	公園種別
瑞穂	瑞穂公園	○	○			24.46	昭和16年	運動公園
熱田	宮の渡し公園	○				0.62	昭和60年	歴史公園
	白鳥公園	○	○		○	8.22	昭和49年	地区公園
	神宮東公園	○				8.09	昭和60年	地区公園
中川	松重閘門公園	○				0.23	昭和61年	歴史公園
	富田公園	○				6.67	平成7年	地区公園
港	荒子川公園	○	○			26.10	昭和60年	総合公園
	新茶屋川公園	○				4.44	平成3年	運動公園
	稲永公園	○	○		○	31.36	平成4年	運動公園
	戸田川緑地	○	○	○	○	29.11	平成6年	総合公園
	日光川公園	○	○			11.52	平成6年	運動公園
	稲永東公園	○			○	10.33	昭和18年	地区公園
	港北公園	○				4.68	昭和17年	地区公園
	土古公園	○				5.43	昭和54年	地区公園
南	南郊公園	○				6.19	昭和58年	地区公園
	呼続公園	○				4.35	昭和29年	地区公園
守山	笠寺公園	○				4.46	平成3年	地区公園
	雨池公園	○		○		1.17	昭和62年	地区公園
緑	八竜緑地			○		4.17		その他の公園
	滝の水公園	○				4.11	平成1年	地区公園
	新海池公園	○				7.11	平成2年	地区公園
	水広公園	○				5.79	平成15年	地区公園
名東	滝ノ水緑地			○		4.42	平成3年	都市緑地
	猪高緑地	○		○		10.43	平成4年	総合公園
太白	天白公園	○		○		12.79	平成2年	総合公園
	細口池公園	○				4.22	昭和61年	地区公園
	相生山緑地			○		1.24	平成5年	都市緑地
	島田緑地			○		2.90	平成6年	都市緑地
	荒池緑地			○		12.34		公園予定区域

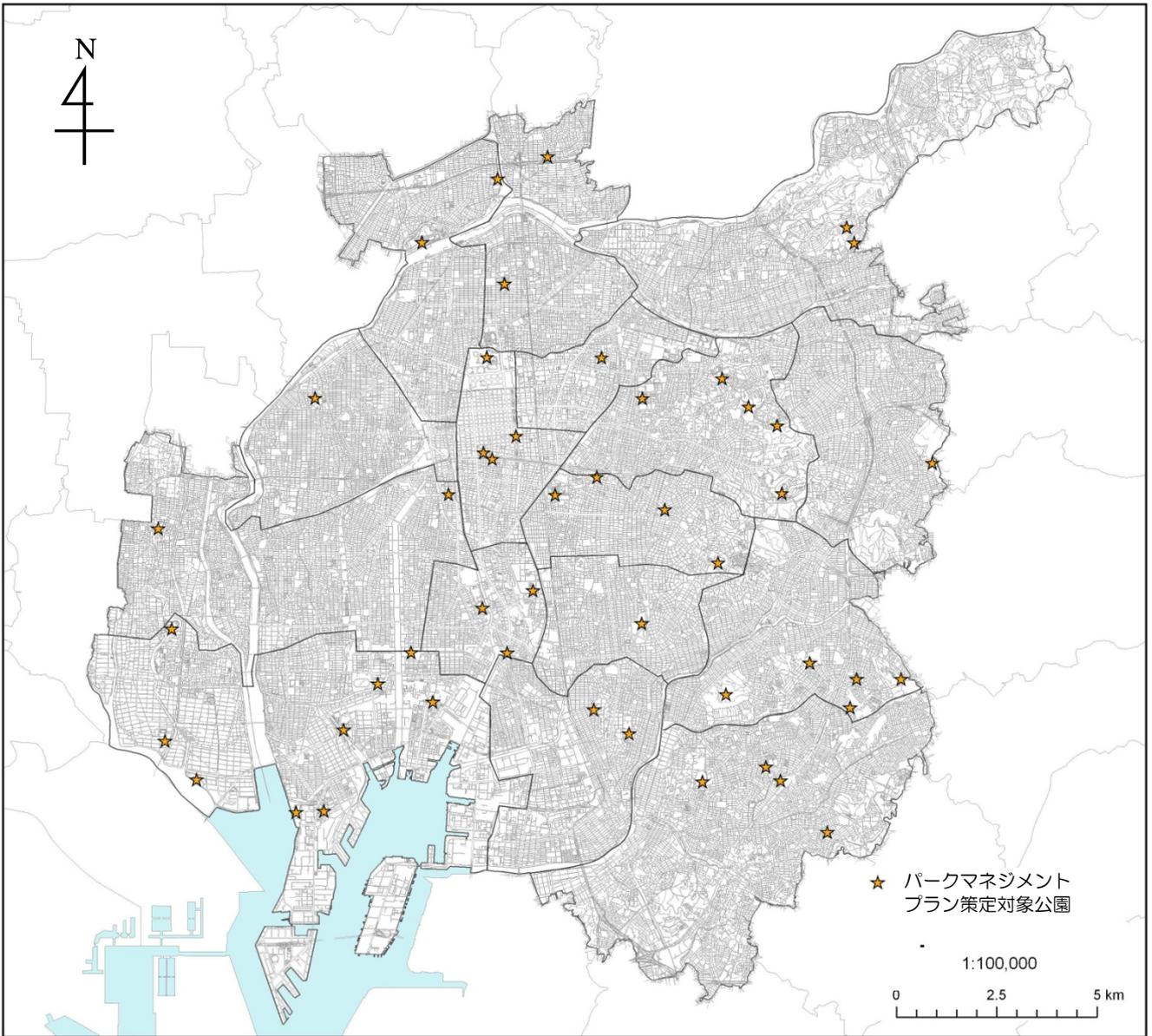


図 1-2-3 パークマネジメントプラン策定対象公園

(2) パークマネジメントプランの内容

パークマネジメントプランは、それぞれの公園特性を踏まえ、各公園の基本的な性格や役割を定め
たうえで、公園の目指すべき姿（目標設定）やプロジェクトの展開の方針を策定します。

表 1-2-7 各公園ごとのパークマネジメントプランの構成（例）

I	基本事項
II	現況・特性
1	〇〇公園の概要
	(1) 現況
	(2) 沿革
	(3) 行政計画上の位置づけ
	(4) 公園の立地条件
2	公園の特長と利用状況
	(1) 公園の特長
	(2) 利用状況など
III	〇〇公園パークマネジメント
	(1) 公園の基本的な性格・役割
	(2) 公園がめざすべき姿
	(3) 取り組みの方針
	①ゾーン別利用特性
	②維持管理の方針
	③景観形成の方針
	④運営管理の方針
	⑤連携・協働の方針
	⑥改修・再整備の方針（必要に応じて）
	<資料編>
1	利用状況データ
	①年間利用者数
	②主な催事の状況
	③主な活動団体一覧
	④特徴的な利用
	⑤主な広報
	⑥利用者の声
	⑦利用状況写真
2	法令・マニュアル一覧
3	防災関連
	①避難場所指定の公園
	②大規模救出救助活動拠点候補地としての公園
	③ヘリコプター活動拠点候補地としての公園
4	ゾーン区分
5	公園関連資料等

(3) パークマネジメントプランの作成手順

パークマネジメントプランは図 1-2-4に示した手順で、①対象公園の利用状況調査から、⑧パークマネジメントプランの策定・公表までを実施します。パークマネジメントプランは②公園の特長の把握（公園カルテ作成）に基づいて作成されますので、①～②までの手順は公園カルテの作成手順と同じです。

パークマネジメントプランの作成に当たっては、公園カルテで行う、現状の把握に加えて、今後どのような利用が伸びていくかという予測及び方針設定が重要となりますので、③周辺環境の把握、④今後公園に求められる・期待されるニーズの検討を実施します。

⑤公園の公園経営の現況評価では、現時点での公園経営の推進状況の評価の方法を、表 1-2-8及び図 1-2-5に示しました。これを参考に公園の現況評価を行い、⑥公園の「めざす公園像」の検討を行って、どのような項目に力を入れていくべきか判断を行ったうえで、⑦基本となるプロジェクト、取り組み指針、制度方策の検討で、実現化するための具体的な計画を定めます。

また、目標設定や取り組み指針、制度方策の検討については、図 1-2-6に示したように公園の体系や現況調査結果から得られた公園ごとの性格・役割に基づき、「公園経営基本方針」に従って、目標像を設定します。

図 1-2-4 パークマネジメントプラン作成の手順



表 1-2-8 公園経営の現況評価

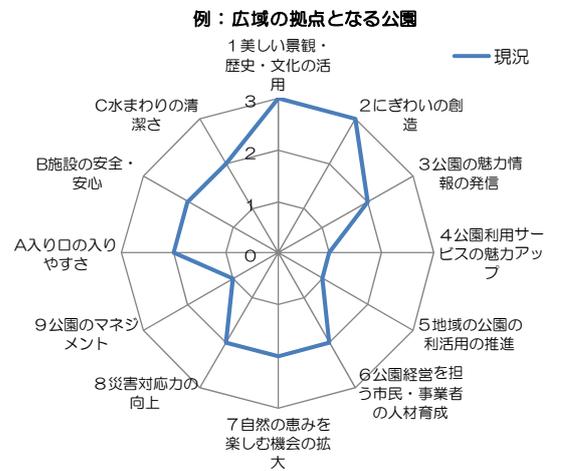
項目	評価の内容（案）
公園経営の方針の実施状況	<p>（全公園共通）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・写真や絵になる風景や歴史・文化的な資源があるか。 ・それらの風景や歴史的・文化的資源をきちんと手入れされているか。 ・利用者にそれら資源の存在が認識されているか。 ・イベント等で積極的に使用されているか。
	<p>（全公園共通）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公園のにぎわいの中心である広場に人が集まれるようになっているか。（手入れされているか。広場に危険な箇所はないか。） ・広場が、地域のイベント等で積極的に利用されているか。 ・イベント・催しが開催されやすいルール（取扱い基準）が設定されているか。 ・イベント利用の収益を還元する仕組みができていないか。
	<p>（全公園共通）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者が求める情報が整理されているか。（公園カルテが作成されているか） ・利用者に向けて情報公開（HPの作成）がなされているか。 ・多様な情報提供ツールに情報を発信しているか。 ・より効果的な新しい情報発信手法を検討しているか <p>（主要な公園での追加評価項目）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フィルムコミッション事業への協力、キャラクターセールスを行っているか。
	<p>（全公園共通）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・民間活力を導入したサービスを行っているか。（自販機や物販、公園活用プログラムの提供等） ・多様な民間サービスが提供されているか。 <p>（駐車場がある場合の追加評価項目）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・適切な駐車場利用サービスが図られているか。
	<p>（全公園共通）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公園の運営と維持に地域コミュニティ（町内会・愛護会等）は参画があるか。 ・よい公園づくりのために地域コミュニティの利用と参加を呼び掛けているか。 ・公園管理者は地域コミュニティのニーズを、意見交換会や運営協議会を通して把握しているか。 ・公園の管理運営を地域コミュニティの団体が担っているか。
	<p>（全公園共通）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規に公園で活動したい人（個人）を受け入れる体制があるか。 ・公園に対する共通知識を学ぶ機会を設けているか。 ・活動団体同士の交流機会を設けているか。 ・スキルアップを学ぶ機会を設けているか。
	<p>（全公園共通）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公園内の植物や自然について情報発信をしているか。 ・植栽や花壇、自然の樹林地等の手入れに住民や活動団体の参加を図っているか。 ・収穫物や手入れによって得られる間伐材等の有効利用を図っているか。 ・活動団体を交え、樹林地や水辺等の生物多様性に配慮した管理目標の設定、管理方針の決定等のルール作りを行っているか。
	<p>（全公園共通）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防災計画に基づいた求められる機能が確保されているか。 ・災害時に使用できるように、使用方法の表記があるか。 ・地域の防災訓練等で使用するなど、積極的に使用方法の周知を図っているか。 ・施設の安全点検や異常個所の通報体制が地域住民との間にできているか。

公園経営の実施状況	9 公園のマネジメント	(全公園共通) <ul style="list-style-type: none"> 公園の特長と現状を踏まえて、公園のめざす姿(目標設定)を公表しているか。 目指す姿に応じた具体的な実行計画を立てているか。(パークマネジメントプランを作成しているか) 計画に基づいた公園経営の実施を行っているか。 公園利用者の満足度を把握するなど、公園経営の効果を検証しているか。
公園の使いやすさ	A 入口の入りやすさ	(全公園共通) <ul style="list-style-type: none"> 利用者が公園に入るのに躊躇するような、荒れた雰囲気、障害物等がないか。 入口及びその周辺が手入れされているか。 公園利用をしている人が入口付近からみえるか。 公園でのイベント告知などがあり、人々が公園を利用してみたいと感じられる雰囲気づくりをしているか。
	B 施設の安全・安心	(全公園共通) <ul style="list-style-type: none"> 施設が壊れている箇所、危険な箇所はないか。 遊具や運動施設を利用者が安全・安心に使用することができるか。 使用方法の表記があるか。 公園内の施設は利用者の利用目的として人気があるか
	C 水まわりの清潔さ	(全公園共通) <ul style="list-style-type: none"> 水周りは壊れたまま放置されていないか。 水まわりに気になるようなもの(ごみ、犬の汚物等)が恒常的にないか。 水周りの設備は清潔に保たれているか。 水周りを使いやすいアイテム(ブラシ・コップ、花等)が自発的におかれ、ボランティアによって管理されているか。

図 1-2-5 評価と目標設定の考え方

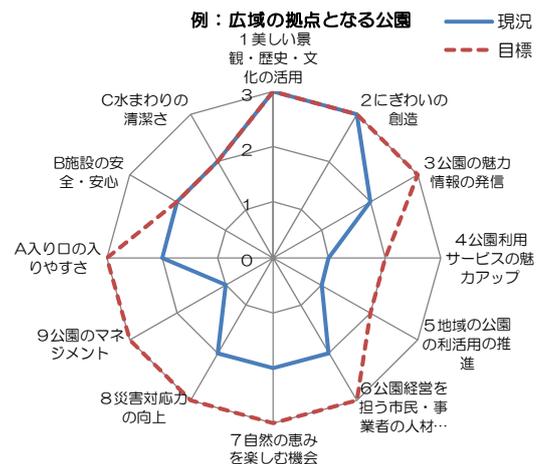
現況評価イメージ

- この公園で特に取り組んでいかなければならない項目は何か?
- どんな方法が適切か?
- 公園の「めざす公園像」の検討や基本となるプロジェクト、取り組み指針、制度方策の検討の参考とする。



目標の設定イメージ

- 現況評価の結果を、公園の「目指す公園像」の検討や、基本となるプロジェクト、取り組み指針、制度方策の検討を通して、どの項目に力を入れるか、どこまで伸ばすことを目指していくかを個別に検討し、設定する。



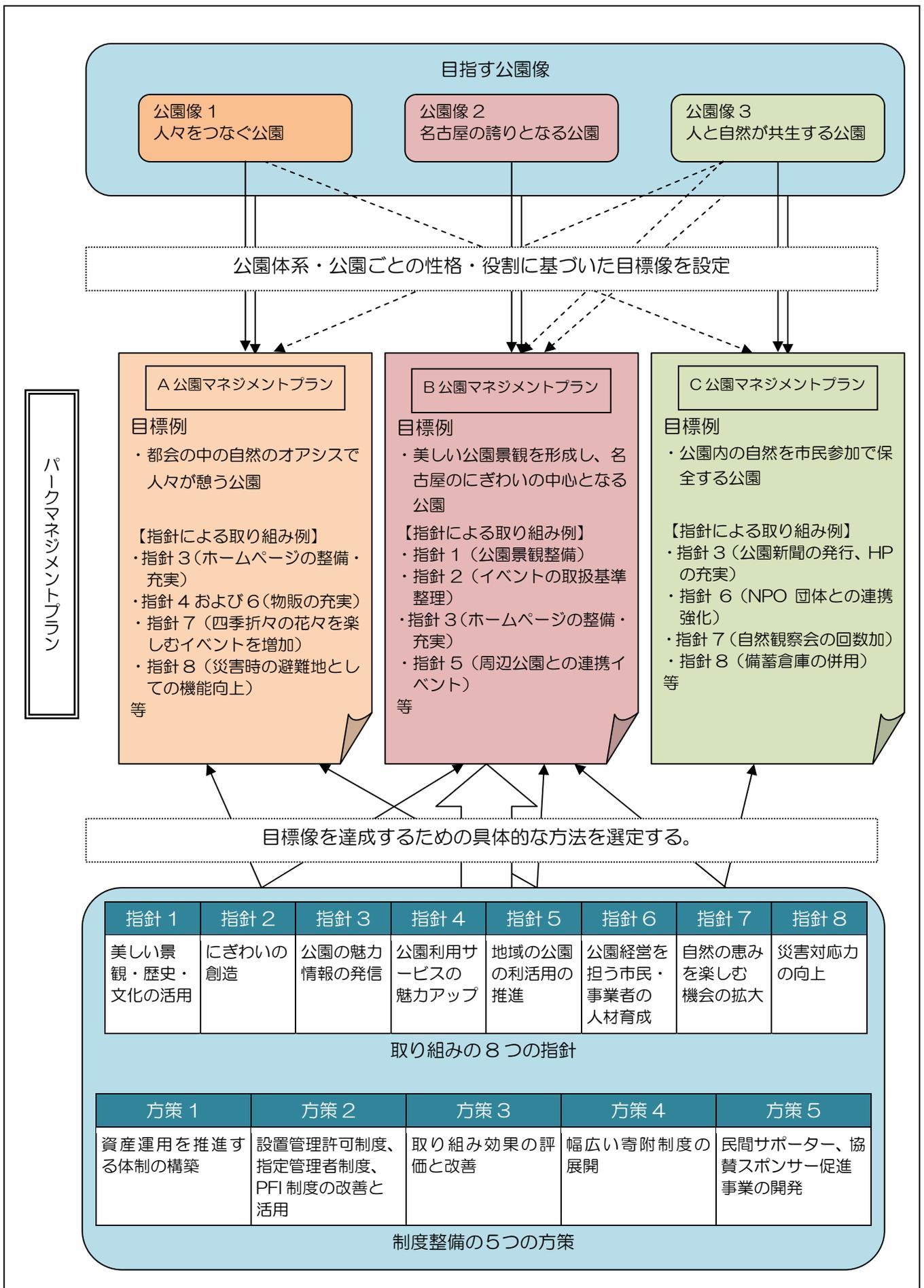


図 1-2-6 めざす公園像の設定について